

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-2447(内線331)
✉ klg110@town.kosa.lg.jp

美術作品に隠された謎を解き明かす
一色 さゆり著 / 『神の値段』

宝島社

小説

メディアはおろか、関係者の前にも一切姿を見せない現代美術家・川田無名。彼は唯一繋がりのあるギャラリー経営者の永井唯子経由で作品を出し続けているが、その唯子が突然何者かに殺されてしまう。アシスタントの佐和子は、真実を探るべく動き出す…。現代アートの世界の光と影を描いた、美術ミステリーの新機軸の作品です。

親子でやりたいスキンシップ絵本
鈴木 まもる作 / 『だっこ』

小峰書店

児童書

いろいろな「だっこ」のバリエーションを動物に例えて愛らしくやさしい絵とともにリズムカルな言葉で楽しく紹介します。パンダ、ラクコ、ライオン、アザラシ、ニワトリ…。次はどんなだっこかな。動物だっこの真似をしながら読み聞かせをしてほしい、赤ちゃん向けのスキンシップ絵本。親子で楽しんでいただけるおすすめの本です。

救命センターの人間ドラマを描く
浜辺 祐一著 / 『救命センターカルテの向こう側』

集英社

一般書

「孤独死」という寂しい最期を迎える人も少なくない今の日本。救急医療における「最後の砦」である救命センターにも、高齢化の波が押し寄せる。30年に渡り生死の境を見続けてきた現役救命医が、本音でつづった「命」をめぐるメッセージ。救命センターの知られざる人間ドラマに、深く考えさせられる1冊です。

楽にできておいしいレシピが満載
瀬尾 幸子著 / 『これだけで、ラクうまごはん』

新星出版社

教育・娯楽

よくばらない、やりすぎない、ゆでただけ、あえただけ、材料これだけ、このコツだけ…。家ごはんは、この「だけ」料理がいい。素材そのままがうまいし、がんばらないからくたびれない。初めての1人暮らしや初めて料理を作るにも、分かりやすい工夫がされています。誰でも失敗なくおいしい料理が作れるおすすめのレシピ集です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

数年前、映画『レッドクリフ』がありました。迫力があり、筋も面白く楽しめました。これは中国の「三国志演義」の中の“赤壁の戦”を映像化したものでした。

漫画『三国志』は、子どもの頃から慣れ親しんだ横山光輝さん（故人）の長編の著作です。

初めて読んだ時は、面白くて次を次をと読み続けたものでした。

今月の案内人



沖崎 幸夫さん
[辺場区]

何回読み返したか覚えていません。諸葛孔明は、特に心引かれる人物です。有名な言葉

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

漫画『三国志』（横山 光輝作）

中国の後漢末期、皇帝の権威は失墜し世の中が乱れた時代を戦い抜いた登場人物やその出来事がダイナミックに描かれている長編大作漫画

も豊富で“桃園結義”“三顧の礼”“泣いて馬謖を斬る”など、ワクワクする展開についてまた読みたいくなります。

この本の影響を受けて、まだ巨大な三峡ダムの出来る前の2001年、中国長江のこの「三国志」の舞台の一つ“三峡下り”の旅に行きました。そのスケールの大きさ、天を突くような千仞級の山々の絶壁を堪能できました。

本の力は大きい。野鳥観察の趣味も20年前の本との出会いからでした。

図書館は“宝の山”です。図書館へ行こう。



Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▲平成27年度・町民大学 閉校式と講演会

3月24日(木)町生涯学習センターで、平成27年度町民大学閉校式および講演会を開催し、受講生や甲佐町介護予防サポーターなど90人が参加しました。

町教育委員会の蔵田勇治教育長のあいさつの後、講演会を開催。講師の熊本大



▲講師の中川さんから健康づくりのポイントを学ぶ参加者

学教育学部教授の中川保敬さんが「健康づくりのポイ

▶公民館自主講座

町生涯学習センターの施設使用について

この度の熊本地震により、町生涯学習センターなどの施設使用ができず皆さんにはご迷惑をお掛けしております。できる限り早期に貸し出しができるよう調整を行っていますので、もうしばらくお待ちください。

なお、使用開始時期については決定次第、各講座の講師または代表者に連絡します。講師の方はお手数ですが、各受講者にご連絡をよろしくお願いします。

▶お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

096-234-2447 (内線321)

✉klg110@town.kosa.lg.jp

●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)

✉klg110@town.kosa.lg.jp

▲公民館出前講座

上揚区で米粉料理教室

4月14日(木) 上揚公民館で、公民館出前講座「米粉料理」を開催しました。

講師の森田光樹子さん(岩下二区)の指導の下、米粉を使った白菜の中華クリームスープと豚肉のシヨ

ントゥ筋トレ・脳トレ・メタボをとりましよう」をテーマに講演されました。中川さんは、スクワットのより効果的なやり方や運動機能の低下を歩行スピードで判断する方法などを紹介し、参加者と一緒に身体を動かして実践。中川さんに指名されて歩行を測定した村上浩二町公民館長は、平均よりも遅く日ごろの運動不足を実感していました。



▲米粉を使った豚肉のシヨウガ焼きを調理する受講生たち

米粉の新しい使い方や高い栄養価、アレルギーのある人が多い小麦に代わる食材であることなど米粉の特性について学びました。調理後には、試食の昼食会を開き、同区の近所のみなさんの近況や料理の話などおいしく楽しく過ごしました。

ウガ焼きと持ち寄りの野菜でサラダ作りに挑戦。受講生はみんな材料を切り調理しながら、森田さんから

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

聴覚障がいについて

聴覚障がいは、まったく聞こえない状態「ろう」と、聞こえにくい「難聴」があります。また、事故や病気で人生の途中から聞こえなくなる「中途失聴」があります。

聞こえ方のレベルは人それぞれです。人工内耳や補聴器などの聞き取りを助ける器械を装着している人もいます。情報を得たりコミュニケーションを取る手段として、相手の口の動きを読み取る「口話」、手指や表情で表現する視覚言語の「手話」、互いに文字を書いてコミュニケー

ションを取る「筆談」、話の重要な部分を手書きやパソコンを使って要約し文字にして伝える「要約筆記」があります。

《聴覚障がいの方が遭ったトラブル》

先日、近所の方がうしろから声を掛けてくれたようなのですが、耳が聞こえないため全く気付かませんでした。後になって「無視された」と勘違いしていることが分かり、誤解を解くのが大変でした。

☆こんな配慮をお願いします。

聴覚に障がいのある人は、見た目から障がいがあることが分かりにく

いため、障がいがあることを知らない人からは「声を掛けたのに無視された」、「態度が悪い」といった誤解を招くことがあります。見た目では分からない障がいがあることを理解しましょう。また、聴覚に障がいのある人に声を掛けるときは、しっかりと顔を見て、ゆっくりと声を掛けるようにしましょう。

●人権に関するお問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447(内線324)

✉klg110@town.kosa.lg.jp